

第6期 第17回サポーター運営協議会 市民参加部会活動報告書

	令和4年度	令和5年度												令和6年度					
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
会議日程	部会開催日	3月22日	4月20日	5月7日	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日	9/17 講演会	10月12日	11月9日	11/19 講演会	12月14日					
	運営協議会開催日	全体会		ワークショップ															
1. センターイメージチェンジ事業																			
ウィッシュツリー制作		募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示			制作物の撤去											
月替わりパネル展示		展示団体募集	抽選・連絡	6月展示	7月展示	8月展示	9月展示	10月展示	11月展示	次年度公募企画検討	募集要項確定	企画事前PR	出展団体募集開始	出展団体選定					
2. 市民交流参加事業																			
市民団体				企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定・広報原稿作成	10/1 公募開始		市民公募講演会	次年度公募企画検討	日程および募集要項検討							
企業				日程・内容検討							次年度公募企画検討	日程および募集要項検討							
学術				企画の概要決定	広報原稿作成	8/15 募集開始	講演準備	9月17日			次年度公募企画検討	日程および募集要項検討							
学術										企画の概要決定	広報原稿作成	12/15 募集開始	講演準備	2月下旬講演会					
「今回の検討課題」										「前回の検討結果」									
<p>1 議題</p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 企業パネル(千葉 JETS と IKEA)の展示場所・展示期間について</p> <p>2. 市民交流参加事業 公募型市民交流参加事業・海外異文化学習講座 報告(小山主事)</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 パネル展示について 市民団体パネル展・企業CSR活動パネル展の募集要項について</p> <p>2. 市民交流参加事業 2023年度分 藤井先生の講演会の準備状況について(柴田委員) シモジマの交流会準備について(柴田委員)</p> <p>2024年度分 公募型交流会について 202411市民団体ワークショップ企画募集要項ver2に基づいて検討する</p> <p>市民活動スタートアップ応援企画(南山委員) 学術・教養系の企画 企業を講師とする企画</p>										<p>1 議題</p> <p>市民活動フェア出展団体のパネル展示の準備が進められていることが確認された。また、既存の企業パネル(石井食品とクボタスピアーズ)については市民活動フェアまで、残る2団体の企業パネル(千葉 JETS と IKEA)については市民活動フェアから、その後1ヵ月程度の展示を依頼することも確認された。展示時や市民活動フェアの期間に企業の担当者に現場に来てもらい、他の企業パネルや市民団体のパネル展示の実物を見ていただく事を依頼することになった。</p> <p>2. 市民交流参加事業 公募型交流会企画について進捗状況報告(小山主事) 11月9日時点で28人からの参加申し込みがあった。 市民団体企画公募日程 6月30日サポートセンター登録団体一斉配信メールで予告を配信。 7月1日～7月31日 電子申請システムで交流会担当団体募集 8月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 担当団体決定 8月25日 広報原稿確定 10月1日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始 11月上旬 参加者募集締め切り 11月19日 講演会当日</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 市民団体パネル展・企業CSR活動パネル展の募集要項について 配布された3つの資料(2024年度市民活動団体パネル展示募集要項(案)、2024年度企業CSR活動紹介パネル展示募集要項(案)、2024年度パネル展示申し込み書(案))に基づいて2024年度パネル展示について、議論した。</p> <p>2. 市民交流参加事業 2023年度分 柴田さんから講演会の準備の最新状況が報告された。</p> <p>2024年度分 公募型交流会について 202411市民団体ワークショップ企画募集要項ver1に基づいて検討した。交流会の準備日程及び実施日について再検討することとなった。 公募型交流会企画の応募企画の活用について 次年度についても公募型企画に応募していただいた企画については、関係者間で協議してサポートセンター以外の場所での実施について、検討することとなった。</p> <p>一般市民向けの市民活動スタートアップ企画 南山さんから配布された「市民活動スタートアップ応援企画」に基づいて、内容を協議した。これまで市民参加部会で対象としてきたよりも、さらに一般市民よりの企画になっている。次回部会で再度協議することとした。</p> <p>他の交流会企画について 学術・教養系の企画・企業を講師とする企画いずれも今回の部会では議論は行わなかった。2024年度については、部会内で必要があれば実施を検討する。</p>									

第6回 全体会の協議内容

<p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>1 議題</p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 ワークショップ制作物の成果報告について(ワークショップ制作物の成果報告書) 資料に基づいて南山さんから報告があった。市民団体が講師となり、参加者が体験制作できるワークショップ企画を今後検討したい</p> <p>Q1. 企画の対象年代は？ A1. 今回の企画は子供を参加対象としましたが、子供だけで来ることはあまらず、その親世代も一緒に参加できる企画にすることで、これまでより幅広い年代の人にサポートセンターを利用していただきたいと思っています。ですので、センターイメージチェンジ事業センターとしての対象年代は全年代を想定しています。</p> <p>パネル展示について(出展団体一覧表配布) 資料に基づいてパネル展示をしている団体を確認した。また毎月の市民団体パネルについては、市民力参加サイトに一か月分をまとめた記事としてブログに掲載している。</p> <p>企業紹介パネルについて 市民活動フェアに先立ち10月の常設パネル展に石井食品とクボタスピアーズの紹介パネルが展示されることが報告された。また、フェア後に展示してもらえる企業パネルについても、市民活動フェアの協力企業(ちばJETS, IKEA, ちばスカイセラーズなど)に検討依頼中。</p> <p>2. 市民交流参加事業 2-1 学術交流会 西藤先生の講演会の準備状況について(講演会チラシ) 講演会チラシに基づいて依田さんから報告があった。(アンケートの集計結果などの詳細は次回の全体会で報告予定) 講演会のPR方法としては市民活動サポートセンターに登録されている団体や公共施設でのチラシの配布や市民力発見サイトのブログ、SNSなどが活用された。またサポートセンターの機関誌「しみんりょく」や「ちいまちいき新聞」などのミニコミ誌にも紹介記事が掲載された。</p> <p>Q1. 集客のコツ・ポイントは何かありましたか？ A1. 多様な媒体を利用したことがよかったです。広報ふなばしではあまり大きな記事に乗らないので、「しみんりょく」や「ちいまちいき新聞」などミニコミ誌でのPRが効果があったとおもいます。また、今回は本協議会のSNSやブログでの告知も活用しました。</p> <p>Q2. 参加者の属性、個人が団体か A2. 59人申し込み、49人参加、電子申請22人、電話37。所属団体名の申告があった方は37人、特に所属団体のない個人は22人でした。男15人女44人になっていました。</p> <p>Q3. 今後の広報に関する取り組みについて A3. 申し込み情報を今後のイベントにPRに利用することの許諾を取って、今後のイベントPRに活用することも検討しましたが、個人情報保護と管理の面を考えると今回は行っていません。(市民協働) 個人情報の管理上の課題があり、現在は申込者に対して申し込み情報を他のイベントのPRに利用することの許可は取っていません。申込者の同意があれば、利用は可能ですが、企画の類似性や管理の問題があり、現在はそうした利用の許諾はとっていません。</p> <p>藤井先生の講演会 柴田委員会から立教大学の藤井誠一郎先生を講師とする講演会を計画していることが報告された。</p> <p>Q1. どのようなテーマを計画していますか A1. 廃棄物処理やごみ問題などが専門で環境問題に関する著書や市民向けの講座なども多数行われています。</p> <p>2-2 公募型交流会企画について(小山主事) 市民協働課小山さんから企画の進捗状況と採択された千葉県JICAシニアボランティアのことが紹介された。今後は広報ふなばし10月1日号に記事が掲載され参加者募集が始まり、11月19日に実施されることが報告された。</p> <p>市民団体企画公募日程 6月30日サポートセンター登録団体一斉配信メールで予告を配信。 7月1日～7月31日 電子申請システムで交流会担当団体募集 5団体から応募があった。 8月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 書類審査(採点) → 担当団体決定 8月25日 広報原稿確定 10月1日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始 11月上旬 参加者募集締め切り 11月19日 講演会当日</p> <p>今回は採用されなかった4つの企画の活かし方についても今後部会として検討する。</p> <p>Q1. この公募型企画の応募者として個人の企画を応募することは考えられますか？ A1. 今年度の募集要項ではサポートセンターの登録団体から募集する形を取りました。企画の周知の段階で登録団体に対して募集情報を周知しましたので、登録団体からの応募となりました。次年度の公募の段階で募集対象をどこまで拡大するかは、再検討いたします。</p> <p>2-3 企業交流会 地域貢献活動をする企業と市民をつなぐ交流会として「シモジマ」を講師とする交流会を検討していることが報告された。現在、1-3月の土日で具体的な実施日程調整に入っている。 来年度は地元企業で担当していただける場所を探す予定であることが報告された。</p> <p>(今後日程調整) 交流会日程検討(2023年下半年期) 11月中旬 市民団体企画 1月～3月 学術・教養系の方を講師とする講演会</p>	<p>前々回検討事項</p> <p>1 議題</p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 10月分のパネル展示(企業出展)の実物で展示状況を確認した。市民活動サポートセンターに初めて企業パネル(石井食品とクボタスピアーズ)が展示されたので、今後どのようにPRしていくかを検討した。</p> <p>2. 市民交流参加事業 西藤先生の交流会報告(依田委員) アンケートの集計結果にもとづいて、全体会の報告なども思い出しつづ振り返り報告を行った。 録画した映像は音声が入らずに、公開することは困難であることが原口副主査から報告があった。このため、ダイジェストのショート動画をPRように公開することも検討することとなった。 公募型交流会企画について(富沢主事) 10月1日の広報ふなばしに記事が掲載され、参加者募集が始まりました。これまでは13人から応募がありました。まだ定員までは余裕があるので、参加者募集を続けてゆきます。今後のPR媒体としては、市民協働課のメールやSNSなども情報発信してゆきます。</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 パネル展示について 次年度も市民団体・企業からのパネル展示を継続することになった。次年度のパネル展の期間は、5月から10月までの6ヵ月間展示を行うことになった。今年度よりも1ヵ月早めに募集と審査が行えるように日程調整を行うことになった。 企業パネルについては、掲載期間・掲載方法など運用ルールについて今後検討することになった。</p> <p>2. 市民交流参加事業 2023年度分 藤井先生の講演会の準備状況について(柴田委員) 現在、藤井先生に候補日を打診し、返信待ちの状態です。先生の希望日程が出てから準備を進める予定。 シモジマの交流会準備について(柴田委員) シモジマの担当者に候補日を打診したところ、どの日程でも対応できるとの回答がありました。日程的に1,2月に企画できるとよいということになった。 公募型交流会企画の応募企画の活用について(谷合・斎木) 市民協働課では、これまで公募型の補助金に採択されなかった団体へのアフターフォローは特にしてこなかった。今回、市民参加部会として企画した交流会に応募していた企画については、それぞれの企画の内容に応じたアフターフォローについて検討したい。</p> <p>2024年度分 交流会の枠組みと開催予定を検討した。 公募型企画の扱いについて 次年度の公募型交流会企画についても、今年度と同様11月の開催を予定し、7月からの募集を目指して準備を進めることとなった。</p>
--	---